

# 議会だより



## 安田の郷の皆さんと案山子づくり（安田幼稚園）

- 審議議案 4月・5月臨時会、6月定例会について… 2・3
- 一般質問 9人の議員が質問 …… 3～9
- 住民の声・まちの力 …… 10

## 4月臨時会

第1回臨時会を平成31年4月23日に開催しました。人事案件1件のほか、専決処分の承認(条例改正)2件、予算案件1件が提案され、報告1件がありました。全ての議案は原案通り可決されました。

### 補正予算

#### 一般会計(第1号)

#### (総務費)

旧内海庁舎解体撤去工事  
1660万円

一般的な鉄筋コンクリート2階建ての解体費用で予算計上していたが、設計を行ったところ、壁が想定よりも厚い事等が判明したため、工事費を増額補正しました。

### 条例の一部改正

#### 町税条例

寄付金税額控除の対

象の拡大、軽自動車税の環境性能割導入等の改正を行いました。

### 国民健康保険税条例

賦課限度額及び軽減する所得判定の基準額について改正を行いました。

### 人事案件

前教育長が3月31日付で退任されたため、新たに坂東民哉氏を教育長に任命することに同意しました。任期は令和3年5月11日までです。



坂東 民哉氏(草壁)

## 5月臨時会

第2回臨時会を令和元年5月24日に開催しました。財産の取得案件1件のほか、契約案

件2件が提案されました。全ての議案は原案通り可決されました。

### 財産の取得

場所 片城甲44-213  
種類 倉庫  
鉄骨造  
スレート葺2階建  
予定価格 784万円



### 工事請負契約

一般廃棄物  
最終処分場整備関係

### 仮設道路工事

相手方 (株)木村  
契約金額 8392万円

### 既存建築物

解体・撤去工事

相手方 (株)竹本組

契約金額 6372万円

## 6月定例会

6月定例会を6月19日・20日の2日間開催しました。条例案件2件のほか、契約案件2件、予算案件1件が提案され、報告2件がありました。全ての議案は原案通りに付託して審査した結果、不採択となりました。9人の議員から一般質問があり、町の将来に向けた討議を行いました。

### 審議した主な議案

#### 補正予算

#### 一般会計(第2号)

追加補正予算額  
1億616万円

#### (総務費)

自治総合センターコミュニティ助成事業助成金  
1930万円

平木地区の太鼓台修繕や日方地区のコミュニティセンター建築等の助成金です。

### 防災無線設備機器

整備等委託金  
432万円

電波障害による不具合が発生している防災行政無線神浦子局の移設委託料です。

### 家具類転倒防止対策

促進事業補助金  
10万円

家具類転倒防止器具の購入に対する補助金です。

### (商工費)

岬の分教場

整備運営基金積立金  
500万円

小豆島ふるさと村

整備運営基金積立金  
524万円

小豆島オリーブ公園

整備運営基金積立金  
2300万円

寄付金を財源として、基金へ積み立てます。それぞれの団体が運営する施設の整備に活用します。

### (衛生費)

住宅用太陽光発電設備

設置整備事業補助金  
80万円

申請件数が多かったため、増額補正しました。

せとうち備讃諸島日本

遺産推進協議会負担金  
330万円

協議会の事業費のうち、国庫補助対象外の経費に対する負担金です。



せとうち備讃諸島日本  
遺産推進協議会貸付金

1000万円

国からの補助金が交  
付されるまでの間の運  
営資金として、協議会  
に貸し付けます。シン  
ポジウム、ホームペー  
ジ制作、PR映像制作  
等を行います。

### (土木費)

岩谷団地外壁改修等工事

3540万円

岩谷団地外壁改修の  
工事費です。

### (消防費)

救急救助用器具購入費

223万円

AEDの購入費で  
す。6分団7屯所(中  
山、二面、三都(吉野・  
神浦)、西村、坂手、  
福田)に設置します。

### (教育費)

小学校英語学習環境

整備事業補助金

75万円

小学校5・6年生の  
英語教科化の実施に向

けた環境整備づくりに  
対する補助金です。星  
城小学校がモデル校に  
選ばれました。

### 条例の一部改正

#### 手数料条例

日本工業規格が日本  
産業規格に名称変更し  
たことに伴い、条例中  
の字句を改正しました。

災害弔慰金の支給等に  
関する条例

国の法令改正に伴  
い、災害援護支援金の  
貸付利率、保証人及び  
返還方法について改正  
しました。

### 工事請負契約

植松都市下水路2号雨  
水幹線新設工事(その7)

変更前

1億476万円

変更後

1億1193万円

内海庁舎解体撤去工事  
相手方 (有)大和建設  
契約金額 7560万円

Q 跡地はどのようにな  
るのか。旧内海町の町  
民憲章はどうなるのか。

A 更地にする予定であ  
る。町民憲章は内海総  
合運動公園へ移転する。

### 請願

国に対し「消費税増税  
中止を求める意見書」  
の提出を求める請願

提出者

10月消費税10%ストッ  
プ！ネットワーク小豆  
連絡会

代表者 小西 隆博

新日本婦人の会

小豆支部

代表者 村上 久美  
紹介議員 鍋谷真由美

審議をした結果、不  
採択となりました。

## 一般質問

6月定例会で9人の議員が町政に対して  
質問をしました。その要約した内容をお知  
らせします。

森 崇 (7P)

- 「交通安全」通勤ラッシュ時の対応は
- 台風など「早めの避難」は
- 公民館の労働条件の改善を
- インバウンド対策は

森 弘章 (4P)

- 観光立町と言われて久しい小豆島、  
これからのビジョン、取り組みは

鍋谷真由美 (8P)

- 補聴器の購入補助の実施を
- スクールソーシャルワーカーの活動は
- 通学路の安全対策は
- 登下校の荷物の軽量化を

藤井 孝博 (4P)

- 商工業活性化に向け「行政と町商工会」  
の連携は

安井 信之 (5P)

- 施策と条例の整合性の確認は

大川 新也 (9P)

- 就任後1年経過しての成果は
- 「自転車歩道通行可」区域・標識の増設を
- 「あれはどうなっている」

森口 久士 (5P)

- 交通安全対策に関して
- 登下校時の安全対策は

浜口 勇 (6P)

- 東京五輪との関わりを

中松 和彦 (6P)

- 島内で新社会人となる若者への支援は

# 一般質問



森 弘章 議員

## 観光立町と言われて久しい小豆島、 これからのビジョン、取り組みは

町「自然や文化・体験等、島人の  
ぬくもりを感じる、おもてなし観光を」

**質問** 今日ある観光小豆島の端緒を開いたのは、昭和29年の映画「二十四の瞳」であり、当時、島への観光入込客は26万人であった。以来、企業、団体等の努力により、48年には154万人を数えた。その後の観光ニーズの変化、激甚災害は、入込客を激減させたが、再映画化、映画村、また、オリブ公園等、官民一体の町おこし事業で年間100万人の舞台は維持してきた。

**答弁** 島にとって観光産業は極めて重要であり、地域資源である自

然、景観、文化等、魅力を磨き国内外に発信、体験や学びの知的観光の重視、来訪者への人のぬくもりの詰まったおもてなし事業の充実を図りたい。

**再質問** 銘打つての世界一の土淵海峡、一辺の砂州のエンジェルロードに、オリブ牛、ネーミング一つで大化けするスマホ情報化時代、先日の日本遺産、「石の島」認定と紙面で踊る中、島にある慣れ親しんだ自然、景観、土着産物などは、隠れた観光資源として、令和観光立町への指針となると思えるが。



空飛ぶ魔法のほうき

**答弁** 県内でも、三豊市、父母ヶ浜のインスタ映えポイント、島では空飛ぶ魔法のほうきのオリブ公園等、ほとんどの観光地でSNSを使った情報発信が行われ、地域に眠る何気ない素材が、見せ方、語り方ひとつで、行列のできる観光資源に変化する可能性がある。観光客のSNSや、動画により、画像を手に島への憧れ、夢を抱くという好循環に対処できよう、これから鋭意取り組みたい。



藤井 孝博 議員

## 商工業活性化に向け 「行政と町商工会」の連携は

町「町と商工会が連携し情報共有を  
図り商工業振興に取り組む」

**質問** 未来へつなぐ元気な町づくりのために、商工業の活性化が重要課題である。現状の各事業者は、地方経済の不安材料を抱えながら事業展開を行っている。また、今後の景気動向も消費税率引上げ等により先行き不透明である。

**答弁** この厳しい環境下、商工業者にとって今こそ必要とされる支援機関が、商工会であり連携して政策活動するのが行政である。両機関が連携を密にした取り組みこそが大変重要である。そこで、行政と商工会が支援機関として「情報共有を目的とした定例会開催」や「町内各事業所への情報提

供」等、連携して商工業活性化に向け、継続した取り組みが行われているのか伺います。

**答弁** 町商工会は平成29年度に事務局長の就任、また若手経営指導員の採用など徐々に体制が整っている。先行き不透明な情勢の中、町の商工業振興の中心を担い、小規模事業者に対して十分な経営指導や経営相談が出来る体制に向けて、町として適切なアドバイスをを行う。



経営相談の様子





安井 信之 議員

## 施策と条例の整合性の確認は

町「検証は適宜行い、

必要に応じて見直しを

行っていくきたい」

**質問** 施策と条例の整合性の確認について疑問視する案件が、奨学金制度において人権対策課と教育委員会、健康づくり福祉課で見ることができ

町「町は、人権対策課・教育委員会の奨学金制度の併用ができるような形をとっていくきたい。

**町**の施策と条例の整合性をどのように管理しているのか。

**答弁** 職員は地方公務員法によって、法令、条例、規則等に従う義務が課せられている。本町では、人が集い、元気な町を目指して各種施策に取り組んでいるところだが、時代の変化や経過とともに制度の内容が現状と異なっているケースもあることから、各種施策における効果の検証は適宜行い、必要に応じ

て見直しを行っていくたい。

改善の余地がある条例等について施策に基づいた整合性が保たれる制度となるよう見直ししていくたい。具体的には、人権対策課・教育委員会の奨学金制度の併用ができるような形をとっていくきたい。

今後、より連携を図るために現在組織改編も含めて行政改革を進めているので、十分今までフォローできなかった部分をどういった体制でいくのかは今後協議をして、また議会とも組織改革を通じてご相談させていただきたい。日々の業務については個別の相談は副町長が対応しており、政策的なことは統括監



小豆島町の例規集



森口 久士 議員

## 交通安全対策に関して

町「危険個所の確認、

安全確保を行っている」

**質問** 5月8日、大津市で車2台が衝突、1台が園児の列に突っ込み園児2人が亡くなる重大な事故が発生した。施設外への保育、授業の時の安全確保は。住民に対し交通安全の啓発に努めるべきでは。

**答弁** 県教委から登下校を含めた安全確保について通知があり、周知徹底をした。職員が再度、危険個所の確認、安全確保を行っている。一人一人が交通ルールを守ることが重要、啓発活動の必要性は大きいと考えている。交通教室は、小豆警察署が交通マナーの指導を目的に園児から高齢者、一般企業にわたって幅広く行っている。

**答弁** 県教委から登下校を含めた安全確保について通知があり、周知徹底をした。職員が再度、危険個所の確認、安全確保を行っている。一人一人が交通ルールを守ることが重要、啓発活動の必要性は大きいと考えている。交通教室は、小豆警察署が交通マナーの指導を目的に園児から高齢者、一般企業にわたって幅広く行っている。



交通安全キャンペーン

## 登下校時の安全対策は

町「不審者情報の共有を行い、周知できる体制である」

**質問** 5月28日、川崎市でスクールバスを待っていた児童らが包丁を持った男に襲われ、2人が亡くなる大変痛ましい事件があった。本町の対応は。

**答弁** 県教委から、翌日付で登下校時の安全確保及び安全管理の徹底を図るよう周知や指導の依頼があり、各学校、幼稚園に指示をした。通学路の安全点検は危険個所の改善を図る。

ほか、児童・生徒への注意喚起を行っている。不審者情報は、警察署、少年育成センター、教育委員会が連携し、情報共有を行い、各学校、保護者にもメールで周知できる体制である。



浜口 勇 議員

## 東京五輪との関わりを

### 町「聖火リレーを小豆島が

### 盛り上がる取り組みにしてい

**質問** 来年7月24日、56年ぶりに東京五輪は開会式を迎える。4月19日に聖火は小豆島でリレーされるのでこれを見られるとのこと。

オリンピック大会の優勝者へオリーブの冠を贈呈してはとの話があったが、どうなっているのか。積極的な関わりを期待する。

活動をした。今は決定を待っている状況である。正式決定は開会の半年前になるとのこと。採択を前提に冠用のオリーブの植栽や冠づくりの担い手育成などの準備を整えている。聖火リレーはオリンピックを最も身近に感じる取り組みにしてい

じられ、直接参加できる絶好の機会であるので4月19日には多くの町民に聖火リレーを見てもらい、オリンピックと小豆島が盛り上がる取り組みにしてい

**答弁** 小豆島を代表し、平和をイメージするオリーブの冠を金メダリストへ贈呈できれば日本を代表するオリーブの産地としてアピールできる最高の機会である。組織委員会の方である元総理大臣森喜朗氏へ浜田知事を先頭にオール香川で平成28年と29年、2回の要望



金メダリストにオリーブの冠を



中松 和彦 議員

## 島内で新社会人となる

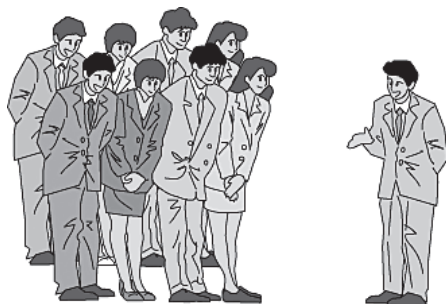
### 若者への支援は

町「産業を活性化し、若い人材が活躍できるよう基盤づくりを進めたい」

**質問** 少子高齢化が著しいわが町においては、若者の島外への流出を少しでも減らすことが大切だ。様々な支援・応援の施策がとられているが、島内に残り、新社会人となる若者たちは、その恩恵を受けることが少ない。新たな簡単にして明瞭な制度を考えるべきでは。

また、新規高校卒業者を町職員に採用する予定は。

**答弁** 町としては、誕生から社会人になるまで、また社会人となつてからも健康で安心できるよう、様々な施策を実施している。新卒者に関しては、新しい環境にもしっかりと順応できるよう、



郡雇用対策協議会による新卒者合同入社式を開催するほか、働く人たちの交流会も検討している。中学・高校を卒業して島に就職する方のためにも、未永くこの町で地域の一員として活躍できるよう、まずは産業を活性化し、その基盤づくりを進めたい。町職員への採用につ

いては、高校とも相談しているが、進路が決定する9月以降、総合的に判断しながら必要であれば前向きに考えたい。



## 「交通安全」

### 通勤ラッシュ時の対応は

町「通行量の問題で

信号機の増設は難しい」



森 崇 議員

【質問】 国道436号線

の西村あたりは押しボタン信号の増設が必要に思う。朝のラッシュでは山手側の町道から国道に出る時、町民が困っている。

また草壁交差点の「改善」はどうなっているのか。

交通取り締まりで警察は、もっと見える位置に立つべきだと思う。子どもたちの見守り隊の実態も知りたい。

【答弁】 信号の増設は指針があり1時間当たり300台以上の通行量と次の信号と150mの距離が必要である。

草壁の交差点は用地買収が完了したと聞いている。

また警察は安全のため必要な場所に立っている。見守り隊は老人会などに活動いただいている。

## 台風など「早めの避難」は

町「防災会議でさらなる自助、

共助、公助の強化を確認した」

【質問】 南海トラフ地震

が起こると和歌山には5分で津波が来る。高知は15分で瀬戸内海は1時間以上と言われている。

政府は「早めの避難」と言っているが抽象的過ぎる。台風時など「陽が照っている時」に避難すべきだ。一人暮らしの方の避難実態も知りたい。

【答弁】 先月、小豆島町

防災会議を開催し、さらなる自助、共助、公助の強化を確認した。昨年12月にも全地区を回り実態を聞いた。

一人暮らしに関わらず要配慮者リストを自治会長に渡している。国の避難勧告等のガイドラインは7月の町広報でお知らせする。



地震によって崩れた農地

## 公民館の労働条件の改善を

町「中小企業退職金共済を

検討する」

【質問】 少し前だが町職

員の退職の時は必ずと言っていいほど「公民館に勤務していた時が良かった。」とあいさつされていた。公民館に

来られる町民の方との会話が行政に生かされていたと思う。今は主事や用務員の方が苦勞

している。労働条件の改善が必要に思うが。

【答弁】 公民館は地域コミュニティの拠点である。

中小企業退職金共済への加入はしていないが、令和2年から制度が変わるので検討する。

## インバウンド対策は

町「案内所などに英語のわかる

スタッフが週に4日配置されている」

【質問】 瀬戸内国際芸術

祭で海外の方が多く訪れている。外国語を瞬時に日本語にするポケトークを観光業者のほとんどが買ったと聞いている。オリーブバスにも必要で運転手や観光客も助かると思うが。

【答弁】 バスの案内所などに英語のわかるスタッフが週に4日配置されている。ポケトークはオリーブバスの事務所に3台配置している。運転手は安全運行のため持っていない。

## 補聴器の購入補助の実施を

町「今は考えていない」



鍋谷真由美 議員

【質問】 高齢化に伴い、

耳が聞こえにくくなつて仕事や社会生活に困る高齢の難聴者が増えている。しかし、補聴器は高額で、「高くても買えない」と悲鳴が上がっている。高度、重度難聴者への補助はあるが対象者はわずかだ。

【質問】 加齢性難聴は日常生活を不便にし、生活の質を落とすだけでなく、うつや認知症の原因にもなる。心身の健康と認知症予防のために補聴器購入補助の検討実施を求める。

【答弁】 全ての自治体を取り組むよう制度化されれば検討したい。生活支援、介護予防、健康づくり施策の充実を図ることが第一である。



難聴者の必需品である補聴器

## スクールソーシャルワーカーの活動は

町「週1日配置して活動」

【質問】 子どもの貧困や、虐待など子どもをめぐる問題が多発している。福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーの役割が重要。中学校に配置されているが、活動実態は。

【答弁】 県費のスクール

カウンセラーと、町費のスクールソーシャルワーカーをそれぞれ週1日中学校に配置。小学校にも出向き、子ども、保護者との面談、家庭訪問、教職員へのアドバイス、関係機関との連携などを行い問題解決に努めている。

## 通学路の安全対策は

町「通学路総点検など行っている」

【質問】 通学路の安全対策について尋ねる。

①民間危険ブロック塀撤去費支援事業の現状。  
②通学路の交通安全対策、また、歩道のない国道、県道の現状、対策見通しは。  
③中・高校生の自転車通学の安全対策の取り組み、また自転車保険の加入状況は。

【答弁】 ①現時点で交付決定が18件、決定額合計は216万2千円

②毎年6月に交通安全点検実施要領に沿って、通学路総点検を行っている。保護者や先生に危険箇所をピックアップしていただき、現地調査により改善方法を検討している。県は、町内6区間の

## 登下校の荷物の軽量化を

町「配慮するよう依頼している」

【質問】 小・中学生が通学するときの荷物の重さは、子どもの健康に悪影響を与えると懸念する声が出るなか、文部科学省は、全国の教育委員会などに対し、重量などに配慮するよう求める通知を出した。本町の取り組みは。

【答弁】 各学校に周知を行い、実際の工夫などを参考に登下校時の携行品の軽量化に配慮するよう依頼している。



登下校時の様子

調査設計、用地交渉、事業実施を進めている。家屋の密集で、歩道確保が難しい区間は、カラー舗装などの代替案も含めて県に要望していく。

③中学生の自転車通学は、約60%。ヘルメット着用、交通ルール遵守を徹底、登下校時に教員が立哨をして交通

安全指導をするなどしている。県のPTA連絡協議会の自転車総合保険の加入率は約80%。小豆島中央高校の自転車通学は約40%。保険の加入は任意のため、できるだけ加入するよう促しているが、加入率は把握していない。



## 就任後1年経過しての成果は

町「見直し効果は約6200万円」



大川 新也 議員

**【質問】** 町長就任後1年が経過し、今年度の所信表明で「その重責を果たすべく町運営に奔走してまいりました」とあるが、反省点はなかったのか。1年を振り返ると可もなく不可もなく無難に終わったとの感がある。「人が集い元氣な町、最小の経費で最大の効果」の具体的な成果は。

**【答弁】** 1年を振り返って事務事業の見直しを行ってきた。行政改革と人が集い元氣な町の進捗状況として、まず昨年10月に行財政改革推進委員会を庁内に設置し、町実施の208件の事務事業の点検、

評価を実施。

また、各種団体176件の補助金の助成効果を検証した。

具体的には、縮小・廃止した事務事業が16件、減額・廃止した補助金が35件、今年度の予算編成へ見直したトータル効果は約6200万円。副町長1人に、公用車7台減少等である。



7台減少した公用車

## 「自転車歩道通行可」

### 区域・標識の増設を

町「県と相談し、警察と協議する」

**【質問】** 瀬戸芸春会期も多くの観光客を迎え入れることができ無事終了した。しかし、今までにない自転車での観光客も急増している。確かに国道には歩道を拡幅して「自転車歩

道通行可」の区域があるが、標識が始点と終点のみの表示しかなく、多くの自転車は車道走行をし、当然、後続車両の渋滞が各所で発生していた。島民車両が安全に通

## 「あれはぶっ壊さる」

**【質問】** 過去に幾度か質問をしたが、その後、経過説明もない、どのようなになっているのか。町長の考えは。

- ①草壁港付近国道拡幅
- ②草壁港新埋立地
- ③旧小高跡地利用
- ④旧高橋旅館焼跡

**【答弁】** ①30年度に用地協力が得られた。ただ、物件の移転が終わっておらず、順次除却・移転を行い、今年度工事に入れる所から行う。

**【質問】** ②今年度は道路用地内の上水道工事、道路工事を行う。用地取得の意向のあった企業について県が投資計画に関するヒアリングや助成制度に関する説明を現在行っている。

③跡地管理については、県の財産経営課が所管課として管理しており、適時高校職員が除草作業等行っている。跡地利用に関しては、以前の中学校移転案も含め早急に議会の意見

行できる道路改良、歩道に「自転車マーク」の表示を増やす要望を県に強くできないのか。

**【答弁】** 「自転車歩道通行可」区域・標識の増設は道路管理者の県と相談し、警察署とも協議したい。今後、県に対し「自転車歩道通行可」の基準を満たす歩道、これらの道路改良を要望する。



工事再開 草壁港付近



増やしてほしい「自転車マーク」



## みんなで元気な 入部に

石 塚 昭 義

(入部自治会会長)

入部地区は小豆島町の西の端に位置し、世帯数95世帯、人口176人の少子化と高齢化の進む集落です。

地区行事は、年に2回河川・海岸清掃を兼ねた地区清掃、地区内五社へ亀山八幡宮宮司を招いての祭礼、9月の敬老会、10月の秋祭り太鼓台奉納を行っています。

また、7月に地区内の老若男女が一同に会し親睦を図る機会として、自治会館前のふれあい広場で夏祭りを開催しています。この祭りは、地区の婦人会、太鼓台奉納を主導する若者の集まり成美会、子ども会が各種バザーを用意し、

地区老人会の入部長寿会の方々を中心としたカラオケ等で祭りを盛り上げています。この祭りを通じ、地区の活性化が少しでも図れたらと思っています。

現在、18歳以下が14人、65歳以上が83人と高齢化が進み限界集落が目の前に見えています。歳を取ることは止めることはできません。地域のみんながつながり、歳を重ねても住みやすい入部地区を目指したいと思います。



交通安全施設整備工事で整備された国道436号

議会を傍聴しませんか。

次回定例会の予定は 9月中旬 です。

## まじの力 小豆島相撲クラブ

小豆島相撲クラブは、小豆郡内の相撲をやりたい小学生が集まり、毎週日曜日17時から19時まで、小豆島中央高校相撲場で稽古をしています。

稽古は、四股やすり足の基礎運動を行ったあと、子ども同士で相撲を取るなど、楽しい雰囲気の中で稽古に励んでいます。また、

楽しい雰囲気の中でも、相手を思いやる気持ちや挨拶や返事などの指導にも力をいれています。

主な出場大会としては、春と秋に行われている香川県少年相撲大会があり、団体や個人優勝を目標に週1回の稽古ですが頑張っています。



相撲クラブの子どもたち

小豆島相撲クラブでは、一緒に相撲をする仲間を募集しています。指導者が優しく基礎から、指導を行いますので、興味がある方は、小豆島中央高校相撲場まで、お気軽にお越しください。

指導者 窪田 佑紀

## 編集後記

▽この号が届くのが夏の土用のころです。土用といってもサタデーの土曜ではなく、四立(立春、立夏、立秋、立冬)の前の18日間のことです。

▽夏の土用は立秋前の18日間で、この期間を暑中といい「暑中見舞い」を出すころです。▽厳しい暑さに負けなようにと丑の日に「うなぎ」を食べることもよく知られています。

▽また、「う」のつくものなら病気になるなといわれ、「梅干し」「ウリ」「うどん」なども食されるようです。▽うなぎは大好きですが、諸般の事情から今年も梅干しとうどんでこの暑さを乗り切っていこうと思います。▽皆様もどうぞ元氣にお過ごしください。

大下 淳 記

本紙に対する  
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL(0879)82-7060 FAX(0879)82-7061  
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp